

標準化会議

1. 概要

平成 19 年度は、平成 16 年 11 月に設立した ISO/TC227 ばねの国際規格開発活動を強力に推進し、10 月に中国・北京市で開催された第 3 回 ISO/TC227 ばね国際会議に 8 名が出席した。更に JIS 3 規格の新設・改正、JASO 1 規格の改正並びに JSMA46 規格の見直しに取り組んだ。また、初めてのアジア太平洋地域標準化現地研修を 7 月にインドネシアで実施した。

2. 標準化会議の開催

開催日	場所	主な議案
第 1 回 平成 19 年 6 月 8 日 航空会館		(1) 標準化会議規格開発方針 (2) 第 3 回「ISO/TC227 ばね」国際会議(北京)の対応について
第 2 回 平成 19 年 10 月 9 日 航空会館		(1) JSMA 各分会、JASO、JIS 規格の活動報告 (2) 今後の活動計画 (3) アジア太平洋国際標準化研修(ベトナム)計画
第 3 回 平成 20 年 2 月 25 日 航空会館		(1) JSMA 各分会、JASO、JIS 規格の活動報告 (2) 来年度活動計画 (3) 規格開発ロードマップについて

3. 活動の詳細

3.1 ISO 規格関係

(1) 政府制度の活用

下記の 3 政府制度を活用し、標準化活動を行った。

1) 国際規格共同開発事業制度

「ばね用語」、「ショットピーニング」の ISO 規格化を推進した。

2) アジア太平洋地域標準化現地研修事業制度

8 月にインドネシアジャカルタ市で海外初の研修をインドネシア規格協会(BSN)と共催で実施。研修生 42 名が参加、日本からは谷口副会長以下講師・スタッフとして関係者 10 名が参加。座学、グループ討議、工場見学などを実施し国際標準化啓蒙活動を促進。更に現地ではインドネシア工業省(MOI)局長、BSN 会長等の首脳陣と国際標準化交流のエグゼクティブ会議を実施した。

3) その他

経済産業省の支援を頂き、関連制度を利用し標準化会議委員が欧州、アジアへ訪問を実施した。

(2) ISO/TC227 ばねの国際規格開発推進をはじめとする国際標準化活動

1) 4 月 16 日～21 日に、中国弾簧標準化技術委員会に天木会長以下 8 名が参加した。

2) 6 月 4 日～6 日に、中国機械科学研究院で本委員会委員 2 名が中国提案の ISO 規格開発に関する打合せを実施した。

3) 6 月 30 日～7 月 7 日に、規格開発中の「ばね用語」「ショットピーニング」の ISO/TC227

- ばね国際会議に向けての事前調整を ESF、IST(英)、ドイツ(独)、AFNOR(仏)で実施した。
- 4) 7月31日～8月3日に、ジャカルタ市のサリパン・パシフィックホテルでアジア太平洋地域標準化現地研修を実施した。
 - 5) 10月29日～30日に、中国・北京市で開催された第3回 ISO/TC227 ばねの会議に8名出席した。この会議では日本提案の「ばね用語」、「ショットピーニング」の2規格を CD 段階から DIS 段階に進めることが全員一致で承認された。また中国提案の「熱間成形圧縮コイルばね」の NP が全員一致で承認され、新たに規格開発を進めることになった。
 - 6) 11月1日～2日に、名古屋市の吹上ホール、マリオットアソシアホテルで国際ばね会議が開催された。1日はエキスパート会議が行われ JSMA から15名が出席し国際標準開発について打合せた。2日はボード会議が行われ天木会長以下11名が出席し第3回 ISO/TC227 会議の結果報告などが行われた。

3.2 JIS 規格関係

- JIS B2704 : 「圧縮及び引張コイルばね - 設計・性能試験方法」の改正が終了。
JIS XXXXX 「薄板ばねの設計計算式及び仕様の定め方」の原案作成が終了した。
JIS B2074 「ねじりコイルばね - 設計・性能試験方法」の改正を実施。

3.3 JASO 規格関係

- JASO F204 「自動車部品 ばね式ホースクランプ」の改正が完了した。

3.4 JSMA 規格関係

- 各部会の年度計画に基づいて、JSMA 規格の改正、見直しを実施した。